



# すみれ組だより 11月号



平成29年 11月20日 ことり保育園 担当:石田

北風が吹き、冬の訪れを肌で感じられる今日この頃。  
そんな中でも、子ども達は元気に生活しています。

先日は保育参観にご出席いただきありがとうございました。

さて、月初めに七五三の飴袋の製作を行いました。

お道具箱に紙を敷き、その上に絵の具のついたビー玉を転がし  
跡をつけるということをしました。

まずはビー玉だけを入れ、転がす練習をするとお道具箱を  
傾け過ぎてしまいビー玉を落としてしまう子がいましたが、

グループの中で「ゆくりやるんだよ」と傾け過ぎないことなどコツを  
話し合ったりして練習しました。そして、いざ紙を敷き製作を  
始めると、跡がつくことが面白いようで夢中で取り組んでいました。  
そんな中で「先生、3つ入れていい?」と「ビー玉を同時に3つ入れたい」という  
訴えがありました。製作の約束では1つつ入れることになっていましたが、  
「グループのみんなに相談してみたら」とアドバイスすると、普段はあまり自分から  
意見を言ったりする子ではないのですが、本人なりにグループの友だち  
一人ひとりに声をかけている姿を見て、人と関わる力が育っていることを  
感じました。また、後から保育者が「どうして3つでやれたかの」と  
質問すると「楽しかったから」という答えが返ってきました。

「ビー玉を転がすのは楽しい、1つで楽しいのだから3つ同時に転がしたら  
もっと楽しいかもしれない」という予想を自分の中で立てることが  
出来たからこそこの行動だと思いました。

これからも製作や遊びを通して「やってみたい」「どうなるだろう」という  
興味関心を大切に、自発的に行動する力を育てていきたいと思っております。

